



東浦自然環境学習の森 里山作り講座

第3回 里山保全の運営

2011.11.19(土)13:00～ 緒川公民館

富田啓介(名古屋大学環境学研究科)

前回（10月1日）学んだこと

1. 知多半島の地理的特色
 - － 自然的特徴
 - － 社会的特徴
2. 知多半島における里山の成立と変遷
 - － 里山形成のきっかけ
 - － 近世・近代の里山の状況
 - － 高度成長期以降の変化

今日学ぶこと

実際に里山保全を進めるにあたって、どのような考え方が必要か？

1. 里山保全の特徴
 - － 原生的自然の保護との違い
2. 里山保全の実際
 - － 目標設定について
 - － 運営について
 - － モニタリングについて
3. 壱町田湿地を守る会の事例

3



1 2 3

里山保全の特徴

4

里地・里山の自然の特徴

- 原始的な自然が、**人の関与**（農業、燃料採取など）によって改変されて形成された
- 里山は、**遷移の途中相**が人の利用によって維持されている状態の林である。
- 里地は、**異なるタイプの生態系**がパッチワーク状に組み合わさって成り立っている。
- 適度な攪乱と、様々な環境が存在することによって、原始的な自然とは異なった**豊かな生物相**が育まれている。

5

里山の保全と原始的な自然の保護

	里山の保全	原始的な自然の保護
人の影響は...?	積極的に与える	極力排除する
人は自然の...?	マネージャー (管理者)	サポーター (補助者)
目標は...?	様々な段階にある遷移の途中相の維持	安定した極相の維持 または復元
目標の数は...?	複数ありうる	ひとつ

6

原生的自然の保護の例

- 原生林、高山植生、泥炭湿原など



木曾駒ヶ岳周辺の高山植生保護活動(2010年8月撮影)
人が「補助」をすることで、植生を復元しようとしている

7



1 2 3

里山保全の実際

8